

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名： グループホーム 白梅の里

作成日： 平成 22 年 1月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	11	職員の離職防止に努める	職員の使命感を自覚し、また尊重しながら職員一人ひとりが、やり甲斐のある職場作りと、上司と職員とがご利用者を中心に平等でコミュニケーションのとれる明るい環境作り	月一のペースで、職員ミーティングを行い、個々の内容の長所、短所を皆さんで協議し皆さんの理解を求める。	3ヶ月
2	21	入居者一人ひとりのニーズに合わせた支援に努める	職員が入居者の担当者を決め、コミュニケーションをより深く作り上げ、入居者の要求に応える。(介護の平等性尊重)	月一の担当者会議にて、入居者それぞれの要求を理解し、前向きに検討し日々のケアプランに生かす。	3ヶ月
3	7 8 9	地域の人達への認知症に対する理解への取り組み	地域の催しものには、積極的に参加して、地域の人達へ入居者及び職員を知ってもらう。	地域からの回覧等で、催し物に参加しているが、更に積極的に参加しやすいシフトを作り参加する意識をもたす。(職員と入居者)	3ヶ月
4	12	職場環境の整備	⑪と重複しるが楽しく、やり甲斐のある職場作り。	職員同士が、良く話し合う場を作り、悪い所は変更し、良い点は伸ばすような取り組みを行う。	3ヶ月
5	50	入居者の外出支援	入居者の楽しみ生き甲斐作り。	昨年秋から、全国的なインフルエンザの流行により中断していた。温泉及び小旅行、映画鑑賞、買い物と、入居者の要望を聞き体調を見ながら計画を立てシフトを組む。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。